



現状の日本の価格基準が、世界において格安であるという現実

令和 7 年 5 月 12 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これら為替と物価は、GDP における経済の拡大とともに、次世代という新しい産業基準において未来を行うものである。

これらは経済戦争は、現実において戦争そのものであることを理解するべきである。

またこれら枠組みが、経済における安全保障とともに、新しい世界の枠組みを提案することへの考察を求められる。

これらは世界経済と政治における新しい潮流であり、それを否定して政治や企業経営を求めることはできない。

これらは豊かさの格差が、それら金融経済とグローバリズムにおいて、新しい世界の現実の構築を行うものである。

これらは金融という支配が、グローバル経済の統一を行うものである。他方においては政治における新しい世界の要求が存在する。

これらがラングレーの施策であり、CNN では理解できない世界の真実なのである。

グローバリズムの真実は、金融経済における世界の支配であることはこれらにおいて明白に理解できるものである。

これら富というヒエラルキーの背後の現実への理解は、正しい企業経営や国家運営の基盤として求められるものである。

また次世代産業が集約する世界の資本は、新しい世界の実現を模索しているのである。

これらが今日の現実の転換と変化への正しい考察なのである。